

令和5年度「学生による授業評価」のまとめ

本校では、「学生による授業評価実施に関する申し合わせ」に従い、毎年、授業終了前後に、学生が受講した授業（講義、演習、実習等）に関して授業内容を評価している。

授業評価用紙は現在複数のものが本校で使用されているが、その一つを図1に示した。

図1. 学生による授業評価用紙(様式1)

学生による授業評価 (令和4年XX学科XX年生): 実施日: R5年XX月XX日								
科目名	XXXX	教員名	XXXX	強く思う (5)	やや思う(4)	どちらともい えない(3)	あまりそう思 えない(2)	まったくそう思 えない(1)
履修態度	Q1.事前に十分な予習をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q2.授業に毎回積極的に参加しましたか。			5	4	3	2	1
	Q3.授業中に講義内容を理解する為の努力をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q4.毎回講義の復習を十分にしましたか。			5	4	3	2	1
目標達成	Q5.最終的に講義の目標を達成することができましたか。			5	4	3	2	1
科目内容	Q6.あなたにとって講義全体の難易度は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q7.講義を履修することで学習意欲は増しましたか。			5	4	3	2	1
総合評価	Q8.この講義は全体として満足出来るものでしたか。			5	4	3	2	1
自由記載欄	Q9.講義に対する意見やコメントがありましたら、ご自由に記載願います。							

図2は、図1の設問8の点数を指標にして、学生による授業評価点をグラフ化したものである。昨年度では、学科間でこれらの評価点に差異が認められたが、令和5年度の授業評価では、いずれの学科でも良好な評価結果となった。そのため、学科間に有意な差がなくなったと推察され、望ましい結果になっていると考えられる。

授業評価点の満点は5点であり、学生はQ1～Q8の各項目に1～5点のどれかを選択していく。図2の「PT」、「OT」、「NS」は、学科ごとに授業評価を受けた教員全員の評価点を平均したものである。「その他」とは、学科に所属していない教員や非常勤講師の評価点の平均したものである。

図2の元データとなった教員一人一人の評価点に注目すると、大きなばらつき

が認められた。最高の評価点は5点であったが、最低点は3.2点であった。

今後、評価が低めの教科に関しては、その授業の構成や資料内容等も含め、授業内容の改善に取り組んでもらいたい。評価を受けた教員全員は学生による授業評価結果を学生自身にフィードバックするだけでなく、次年度に向けては、評価点数だけでなく学生からの具体的なコメントも考慮し、さらなる授業内容の改善に取り組んで頂きたい。

図2. 学生による授業評価のまとめ

